

中小企業診断士試験



出る順診断士令和7年1次本試験解説



運営管理

れつく **LEC** 東京リーガルマインド

0 001412 260082
NL26008



FOCUSテキスト購入者特典（運営管理）

令和7年度1次試験総括

◆科目合格率は26.8%

令和7年度の本試験は日本中小企業診断士協会連合会が発表する統計資料によると、科目合格率が14.4%と全科目の中で5番目に高い数値であった。

なお、不備のある問題が1問あり、受験者全員が正答となったために、当該問題の訂正によって科目合格となった受験生も多いと考えられる。

◆全体の平均点は57.5点

LEC解答リサーチによれば全体の平均点は57点であり、直近5年の推移と比較しても平均並みの水準である。例年と比較すると、得点源にはしにくい難易度であったと考えられる。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
科目合格率 (協会公表)	18.5%	16.1%	8.7%	26.8%	14.4%
平均点 (LEC解答 リサーチ)	62	59	54	62	57

一部対応の難しい問題も散見されたがFOCUSテキストの内容を理解し、合格点を確保したい内容であった。

◆正答率別の設問及び得点

LEC解答リサーチより、直近3年の正答率別の設問及び得点は以下の通りである。

令和5年度ではAランクが59点を占めており、基本知識があれば十分に科目合格を狙える難易度であった。

令和6年度ではAランクは42点、Bランクが20点で、正答率50%以上の問題の合計が62点である。Bランク問題の対応力で差がつく内容であった。

令和7年度ではAランクは45点、Bランクが18点で、正答率50%以上の問題の合計が63点である。前年同様にBランク問題の対応力で差がつく内容であった。

・令和 5 年度試験

正答率	設問数	得点	
Aランク (正答率60%以上)	27問	59点	
Bランク (正答率50~59%)	3問	6点	
Cランク (正答率49%以下)	14問	35点	正答率60%以上の設問が59点を占め、基本知識があれば十分科目合格できる

・令和 6 年度試験

正答率	設問数	得点	
Aランク (正答率60%以上)	19問	42点	
Bランク (正答率50~59%)	9問	20点	正答率50%以上の設問は62点であった(Bランクの対応で実力差が出る内容であった)
Cランク (正答率49%以下)	16問	38点	

・令和 7 年度試験

正答率	設問数	得点	
Aランク (正答率60%以上)	20問	45点	
Bランク (正答率50~59%)	8問	18点	正答率50%以上の設問が63点を占め、A,Bランクを落とさないことが重要であった
Cランク (正答率49%以下)	16問	37点	

勝負を分けた設問

◆ B・Cランク問題への対応

実際にB・Cランク問題はどのような問題であったのか。おそらく、基本的な対策だけでは対応が難しいのではと考えられると思う。

だが、その多くはFOCUSテキストでカバーしている基本論点であり、FOCUSテキストの内容を正しく暗記できていれば、問題なく選択肢を絞り込める内容である。

ここでは、そのB・Cランク問題の一部について紹介したい。

第1問

製品の設計や開発の合理化に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a コンカレントエンジニアリングを活用することで、製品開発プロセスの統合化、同時進行化を行い、開発期間を短縮した。
- b CAEを用いて、製造工程計画の策定のために、機械加工工程の自動編成および自動手順設計を行った。
- c CAMを使うことによって、コンピュータの内部に蓄積された製品データから、生産に必要な工程設計の情報を生成した。
- d デザインインの活動を実施することによって、部品の製造販売を行う業者が完成品のメーカーと共同開発を行い、自社の部品をメーカーが設計する完成品に使用するよう働きかけた。

[解答群]

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | a : 正 | b : 正 | c : 正 | d : 誤 |
| イ | a : 正 | b : 誤 | c : 正 | d : 正 |
| ウ | a : 正 | b : 誤 | c : 正 | d : 誤 |
| エ | a : 誤 | b : 正 | c : 誤 | d : 誤 |
| オ | a : 誤 | b : 誤 | c : 正 | d : 正 |

正答率

59.8%

第4問

製造業における工場運営に関する記述と、その記述に関連する用語の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 生産活動を最適化するために、工場の活動に必要なデータを利用して、プロセス管理や製造実績の管理などを行う。
- b 購買、生産、物流、販売、会計などに必要な機能およびデータを、あらかじめ備えたソフトウェアとデータベースにより関係付けて、企業の基幹業務を遂行する。
- c 部品表および作業手順を用いてスケジューリングを行い、納期を回答するとともに設備の使用日程計画および部品の手配を行う。
- d 工場で使われるロボットや自動機の制御機器と連動して利用される。

[解答群]

- | | | | | |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ア | a : A P S | b : E R P | c : M E S | d : P L C |
| イ | a : A P S | b : P L C | c : E R P | d : M E S |
| ウ | a : M E S | b : E R P | c : A P S | d : P L C |
| エ | a : M E S | b : P L C | c : A P S | d : E R P |
| オ | a : P L C | b : M E S | c : E R P | d : A P S |

正答率

52.6%

第40問

あるスーパーマーケットで、POSデータからクロスセルの対象商品を見つける目的でアソシエーション分析を行う。対象とした3つの商品A、B、Cについて、対象期間の発行レシート枚数を整理したところ、次の表のような結果となった。この結果を用いて、下記の設間に答えよ。

レシートで確認された対象商品	該当するレシートの枚数
Aのみ	400
Bのみ	200
Cのみ	600
A、Bのみ	1200
A、Cのみ	800
B、Cのみ	1000
A、B、Cすべて	600
A、B、Cのいずれも購入無し	1200
合計	6000

(設問1)

商品Aからみた商品Bの信頼度（コンフィデンス）として、最も適切なものはどれか。

ア $\frac{1}{9}$ イ $\frac{1}{6}$ ウ $\frac{7}{15}$ エ $\frac{8}{15}$ オ $\frac{3}{5}$

(設問 2)

商品Aと商品Bを併買した購買パターンのリフト値として、最も適切なものはどれか。

ア $\frac{3}{5}$ イ $\frac{5}{6}$

ウ 1

エ $\frac{16}{15}$ オ $\frac{6}{5}$

正答率（1）	63.4%
--------	-------

正答率（2）	47.4%
--------	-------

運営管理攻略に向けた学習法

令和7年度試験の結果も踏まえて、次年度以降の運営管理科目的攻略のポイントを提示していきたい。

◆テキストを読み進めることを目的にしないでほしい

運営管理に限ったことではないが、1次試験は基本知識を正しく理解・整理・定着できているかがポイントとなる。陥りやすいものとして、その日の学習の目的が「テキストを〇ページ読み進める」となってしまうことである。

重要なのはテキストを読み進めることではなく、内容を正しく理解し暗記することであり、自分にとって暗記を進めやすい学習法を確立してほしい。

◆問題演習に注力して、知識を使える状態にしてほしい

1次試験においてよくあることであるが、「なんとなく知っているけど、思い出せない」ということが致命的となることが多い。なぜならば、基本知識で対応できる問題は、いわゆるAランク、Bランク問題が多く、これらの問題を確実に正答することが試験合格においては不可欠なためである。

よって、過去問演習や答練を中心に、問題への対応力を高めてほしい。特に、過去問については同じような問題が繰り返し問われることも多く、問われた論点については欠かさず整理してほしい。

中小企業診断士試験
出る順診断士令和7年1次本試験解説
運営管理

(NL26008)

